

今回は、江戸時代の薩摩藩のお話を紹介します。

薩摩藩には、青少年教育システムとして郷中教育が行われていました。この郷中教育は、幕末の下級武士の台頭に大きな役割を果たしたと考えられています。郷中教育とは、4-5 町四方を単位とする「方限(ほうぎり)」を基盤として、そこに含まれる区画や集落に居住する青少年を小稚児(こちご、6-10 歳)、長稚児(おせちご、11-15 歳)、二才(にせ、15-25 歳)、長老(おせんし、妻帯した先輩)の 4 つのグループに編成したものです。それぞれのグループで「頭(かしら)」「稚児頭、二才頭など」が選ばれ、頭は郷中での生活の一切を監督し、その責任を負います。郷中のメンバーは「舎」(健児の舎)に集まり武術や学問に励んでいました。

私も、昨年 12 月に鹿児島に行ってきましたが、大久保利通や西郷隆盛がまさに郷中教育の成果で、きわめて狭いエリアから輩出されていることに驚きました。まさに現在で言う町内よりさらに狭いエリアでした。

ところで薩摩の教えののなかに男の順序というものがあります、男には以下の 5 つの順序があるというものです。

男の順序

- 一、何かに挑戦し成功したもの
- 二、何かに挑戦し失敗したもの
- 三、自らは挑戦しなかったが挑戦したものの手助けをしたもの
- 四、何もしなかったもの
- 五、何もせず批判だけしているもの。

つまり、成功の反対は、失敗ではないのです。成功の反対は、何もせず批判だけしていることなのです。オリンピックの國保和宏さんもあそこまでパッシングされる事でしょうか？腰パン、会見での態度は責められても仕方ないですが、オリンピックを出場辞退させようとしたのは、明らかに行きすぎだと思います。まさに、オリンピックに挑戦しようとしている若者を、何もしないで批判だけしている。まさに究極の構図ではないでしょうか？

1) 薩摩藩には、青少年教育システムを何といいますか？

()

2) 郷中教育の青少年の 4 グループを記載ください？

() () () ()

3) 明治維新で活躍した、薩摩藩士を二名記載ください

() ()

4) 男の順序を 5 つ記載ください

一 () 二 ()

Ⅲ () 四 ()

五 ()

5) あなたは、オリンピックの國保和宏さんの服装・態度をどう思いますか？

(

)